CALL4.jp



ANNUAL REPORT

2022.6.1 -
2023.5.31

認定特定非営利活動法人CALL4

2022年度

年次報告書

CALL 4

Mission 私たちの目的

より多様で公正な社会を実現する

Vision 私たちがめざすこと

市民に司法をひらき、
公共訴訟に気軽に関われる世の中をつくる

CALL4 は日本で初めての「公共訴訟」に特化したウェブプラットフォームです

不合理なルールや仕組み、不正義を是正するために「公共訴訟」に立ち上がる人々がいます。私たちは、そうした人々を支えます。訴訟の背景や意義を伝え、寄付などの方法で、気軽に公共訴訟に関われる方法を提供しています。



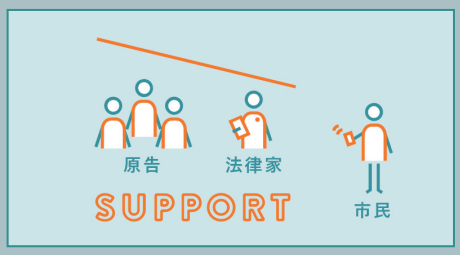
団体概要

団体名	認定特定非営利活動法人 CALL4
所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町二丁目20番 6号 花岡ビル4 階（※2023年11月 28日移転予定）
事業開始	2018 年 12 月
NPO 法人設立	2021 年 4 月 認定 NPO 法人 有効期間：2023年 3月 28日から 2028年 3月 27日まで （東京都（4 生都管第１４１２号））

組織構成

代表理事	谷口 太規	理事	東出 紀之
代表理事	丸山 央里絵 （※2023 年 11 月 28 日就任予定）	理事	松丸 佳穂
副代表理事	井桁 大介	監事	石川 えり
理事	杜多 真衣	監事	土井 香苗





「CALL4」という名称は、「～を呼び起こす」「～を必要とする」という意味の“call for”という言葉に由来しています。立法、行政、司法は三権と呼ばれますが、社会を形作る 4 つめの力として市民の力があると私たちは考えます。

一人ひとりの共感が重なり合って、大きな市民の力となります。こうした 4 つ目の力を呼び起こす、という意味で、“for”の代わりに、“4”（four）という数字を使っています。

CALL 4

出発点にある矜持



共同代表
谷口 太規

先日、東京の郊外に住む男性を訪ねました。その方は、ある公共訴訟を自分が原告になって提起するかどうか迷われていました。彼は、自分の尊厳を深く傷つけられるような体験をし、そのような加害を正当化・恒常化させるような制度を変えたいと強く願っていました。でも、一方で原告になることも躊躇していました。「自分が声を上げることで、これだけ大きなものが本当に動くのか。」「誰かが聞いてくれるのか。結局どこにも届かなかったとならないか。」どれもが、多くの公共訴訟の原告たちがぶつかり、抱えてきた不安です。

これら懸念の前に、結局原告にはならないという選択した人たちも多くいます。話を聞く私にもまた、なぜ被害を受けたその体験だけでも十分苦しい思いをしている人に、さらに重荷を背負うことを促さなくてはならないのか、そうした逡巡が生まれます。それでも彼の最終的な答えを待ちます。酷だと思いながら、彼が立ち上がらなければ訴訟が始まることはないからです。

１時間半ほど過ぎた時でしょうか。彼は、言いました。「でもやるよ。」と。そして、まっすぐとこちらを見て、「自分のために声を上げられるのは自分しかいない。それをしないのは自分の生き方じゃない」と続けました。それからちょっとおどけるように「まさか自分の人生で、裁判を起こすことになるなんて考えたこともなかったよ」と言って笑いました。

苦境に置かれた人が、それでもなお、自分や、自分と同じ立場に置かれた人たちのために立ち上がろうとするその光景に、いつも胸動かされます。彼ら彼女らの勇気が、そしてそれに共感し支えようとしている人たちの存在が、この世界に希望というものを存続させているのだと思います。

今年度もさまざまな公共訴訟が提起され、また多くのケースで画期的な結果が生まれました。その社会に対する大きなインパクトはもちろん、その出発点にあった一人の人間の矜持と、そこに辿り着くまでの長い道のりを支えた人たちの存在の大きさに、心からのリスペクトを感じます。CALL4 はこれからもそうした人々の切実な思いや行動を支えていきたいと思います。

歩みを止めることなく、前へ



共同代表
丸山央里絵

2022 年 11 月 30 日、「婚姻の平等に前進！」の勝利の旗が掲げられ、東京地裁前は無数のカメラのシャッター音に包まれました。

婚姻の平等をめざす「結婚の自由をすべての人に訴訟」の東京一次訴訟の判決があったこの日、現状は違憲状態だとの司法判断が出たのです。同性カップルを法律上も家族と認めるよう国に立法をうながす判決でした。私の構えたカメラのレンズ越しには、30 年近い年月をともに暮らす原告の大江さんと小川さんが、他の原告の方とともに真剣な表情で旗を掲げていました。

遡って 2019 年春、私はこのおふたりの提訴日に公開されたストーリーを読んで心打たれ、CALL4 に加わりました。当時、CALL4 サイトに掲載されていたケースは、たったの３つ。けれど、どれもかけがえのないものだと直感したことをよく覚えています。それまで裁判は縁遠くてよく分からないもの、そう思っていた私が、今では傍聴のため裁判所に通い、自分でも当事者を取材してストーリーを執筆し、ときに初めて傍聴する方を法廷に案内しているのですから、人生わかりません。

“ はじめての裁判傍聴ツアー ” に参加したある学生さんは、「裁判ってめちゃくちゃ面白いですね！」と笑顔で言いました。「こんな問題があったなんて」と涙を滲ませ、次も来たいと感想を話された方もいました。また、傍聴の列で隣り合った LGBT当事者の方は、「公共訴訟を傍聴すると元気になれるんです」と教えてくれました。心折れそうな出来事があっても、着実に前には進んでいると実感できるから、と。

現在、CALL4 に掲載された公共訴訟の数は５0 ケースを超え、CALL4 を通じて行われた寄付の数は累計１万回を超えました。この数は、一人ひとりがそれぞれの訴訟に何かを感じ、一歩を踏み出した数です。まるでその期待に応えるかのように、各地では画期的な司法判断が続いています。

社会は変わる、変えることができる――その可能性を、希望を、より多くの方に感じてこのプラットフォームに参加してもらえるよう、CALL4 もまた皆さんとともに、弛むことなく「前進！」していきたいと思っています。

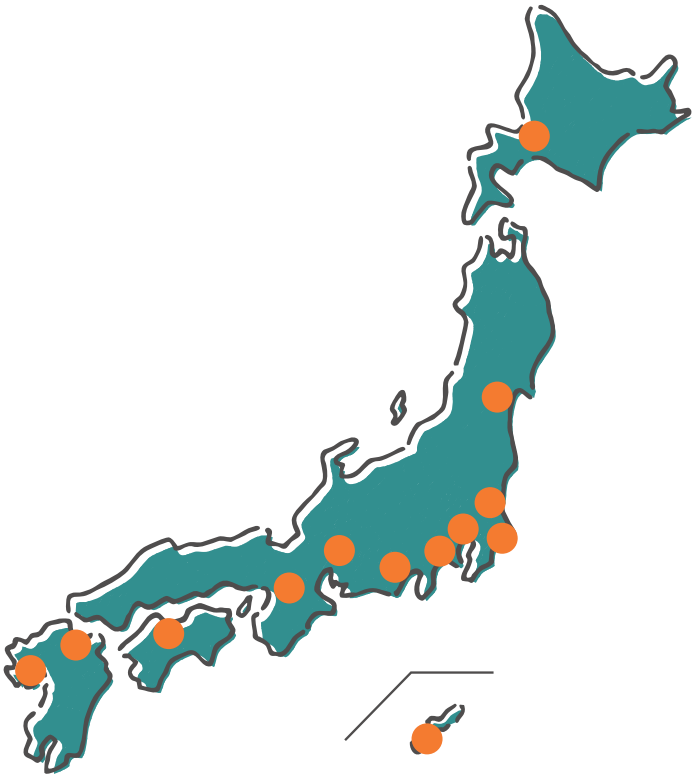
今年度のCALL4の活動振り返り

2023 年 3 月 28 日に東京都から認定を受け、CALL4 は認定 NPO 法人として新たなスタートを切りました。コロナ禍のためオンライン中心での活動が続いていましたが、今年度は CALL4 の事務所に集まって定期的ミーティングも可能となり、オフラインイベントも複数開催することができました。直接当事者や支援者の方々とお会いし関係構築をすることで、さまざまな有機的な動きが生み出されていきました。
CALL4 の認知度も年々増えていっており、今年度も全国各地からお問合せをいただいています。まだまだ団体のリソースには限りがあり、全てに応えきれないところが悩みですが、少しずつ掲載ケースの拡大に努めています。

※CALL4 の事業年度は 6 月始まり、5 月末日締めです。

総取扱いケース数 **54 件**

2022年度新規ケース数 **14 件**



取扱いケースの地域

全国 20カ所

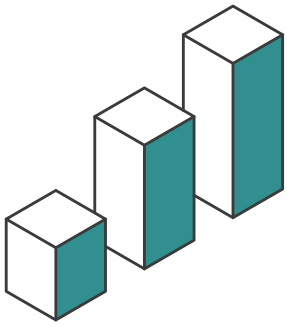
札幌高等裁判所 1 件
仙台高等裁判所 2 件
水戸地方裁判所 2 件
最高裁判所 2 件
東京高等裁判所 11 件
東京地方裁判所 24 件
裁判官弾劾裁判所 1 件
千葉地方裁判所 1 件
横浜地方裁判所 1 件
静岡家庭裁判所 1 件
静岡地方裁判所 1 件
名古屋高等裁判所 3 件
名古屋地方裁判所 2 件
大阪地方裁判所 1 件
大阪高等裁判所 1 件
松山地方裁判所 1 件
福岡高等裁判所 1 件
福岡地方裁判所 2 件
長崎地方裁判所 1 件
那覇地方裁判所 2 件

これまでに CALL4 で扱っているイシュー

外国にルーツを持つ人々／ジェンダー・セクシュアリティ／医療・福祉・障がい／働き方／刑事司法
公正な手続／情報公開／政治参加・表現の自由／環境・災害／沖縄／個人情報・プライバシー

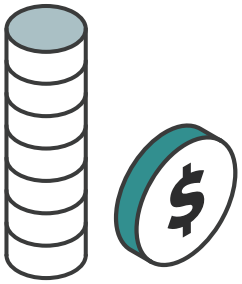
※一つのケースで複数の訴訟を提訴しているケースもございます。
※2023 年 5月 31日時点のデータです。

みなさまからのご支援で
日本各地で声をあげる人を支えることができています



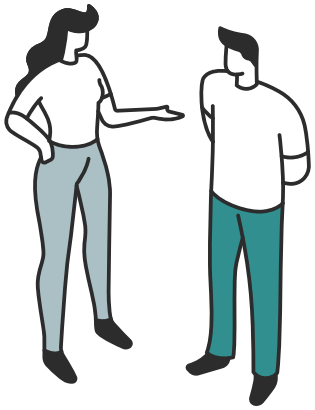
2022年度
掲載ケースへの寄付件数

1,618 件



2022年度
掲載ケースへの寄付合計額

11,610,041 円



マンスリーサポーター人数

117 人

事業開始からこれまでの
掲載ケースへの総寄付件数

10,609 件

2022年度
CALL4 への寄付額

38,832,233 円

累計コンテンツ発信数



ストーリー

38 件



コラム

53 件



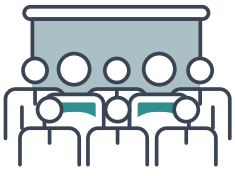
Podcast

21 件



動画コンテンツ

25 件



イベント・
トークライブ

17 件

CALL4 は
主に以下の3つの支援を行っています

CALL4 は、これらの支援について、ケースの当事者の方々から一切お金をいただいておりません。クラウドファンディングの手数料も完全に無料で行っております。CALL4 へいただいたご寄付や企業からの支援金によって活動しております。



¥寄付募集中

日米同性カップル在留資格訴訟 ～家族そろって日本で暮らすために～

#外国にルーツを持つ人々 #ジェンダー・セクシュアリティ

52%

¥524,755円　55人



¥寄付募集中

大川原化工機事件 ～無実で約１年勾留「人質司法」問題をただす～

#刑事司法

86%

¥1,505,553円　214人



¥寄付募集中

ウィシュマさん名古屋入管死亡事件

#外国にルーツを持つ人々

43%

¥4,355,000円　540人

01.
クラウドファンディング運営

＜経済支援＞

CALL4 に掲載しているケースには、それぞれ数名のケースサポーターが、クラウドファンディングの立上げと持続の伴走支援をしています。当事者の方々とCALL4 メンバーがケースページの内容を一言一句考慮を重ねてケースを公開しています。





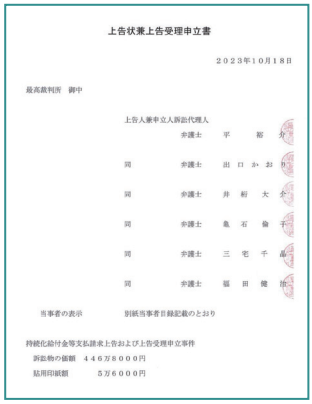




02.
メディア・イベント運営

＜社会的認知向上・共感醸成＞

一つひとつのケースにはさまざまな当事者の方の思いや背景があります。プロフェッショナルなライターや写真家と当事者の方々の元へ伺い、取材をし、ストーリーやコラム、動画の配信をしています。より多くの方々にケースについて知っていただくために、イベントの開催や SNS 等の配信もしています。





03.
訴訟資料の公開・データベース化

＜実務支援＞

CALL4 はより司法をひらかれたものにするため、各ケースで訴訟資料を公開しています。また、公開した資料を整理してデータベース化し、専門知識の提供することにより、公共訴訟に関するオープンな議論を促し、類似訴訟に携わる弁護団を支援しています。

今年度のCALL4 活動トピック

Podcastを始めました



Apple podcast

Spotify

2022 年 6 月、CALL4 Podcast を始めました。CALL4が採用している公共訴訟のケースについて、弁護士の方や原告の方をお招きしてわかりやすく解説していただき、訴訟に対する思いを話していただく企画です。MC は、CALL4 メンバーが交代で担当しています。
2022年度には、合計で 21 本のエピソードを公開しました。多くの企画は、判決が言い渡される直前の時期に収録をし、訴訟を担当されている弁護士の方に法廷で展開されている議論について伺うものとなっています。判決の結論自体はテレビや新聞で目にすることが多いですが、実際に法廷で議論されていることを知る機会は貴重だと思います。ぜひ、通勤通学中や、一息ついた際に、気軽に聴いてみてください。
今後は、リスナーの方の訴訟に対する疑問点やご意見を取り入れながら、双方向性のある企画運営をしていきたいと考えています。

海外への情報発信

CALL4 では外国語での情報発信もサポートしています。各公共訴訟の概要等は、英語をはじめとする外国語に翻訳して掲載することが可能です。実際、国境や言語を越えた支援の輪も徐々に広がりつつあります。司法のあり方は国によって異なります。しかし、テクノロジーの活用により国境を超えた情報発信が可能となります。CALL4 は、公共訴訟を支えるオンラインプラットフォームとして今後も国内外への情報発信を支えて参ります。

裁判傍聴ツアーを4回開催しました

CALL4 では訴訟への関心を呼び起こすと同時に、当事者の主張や想いを深く知っていただく機会をつくるため、当事者や弁護団の皆様と協力して「はじめての裁判傍聴ツアー」を実施しています。
2022年度は「セックスワークにも給付金を」訴訟、「家事労働者にも労災認定を！」訴訟、「日米同性カップル在留資格訴訟～家族そろって日本で暮らすために～」、「受刑者にも適切な医療を！刑務所医療過誤事件」の 4つのケースについて傍聴ツアーを実施しました。
いずれの回も定員に達するお申し込みをいただき、傍聴後の「期日報告会」での意見交換や交流にもたくさんの方から好評の声が寄せられました。原告や弁護団の訴えに間近で触れていただくだけではなく、関心を寄せていただいた方々の交流の場にもなっています。今後も開催予定ですので、ぜひご参加ください。





3周年記念イベント開催

【3周年記念】CALL4 × NO YOUTH NO JAPAN「わたしたちが生きたい社会をつくる公共訴訟」

2022年9月10日開催のCALL4の3周年イベントは、Instagramチームを中心に学生メンバーが、若者が気軽に社会課題を学ぶことができるメディアを運営するNO YOUTH NO JAPANさんと、「わたしたちの生きたい社会をつくる公共訴訟」をテーマとするコラボイベントとして企画しました。リアルではU30世代の20名を超える方に参加していただき、YouTube配信は2023年11月までに延べ2,700回以上再生されました。現地での交流アフタートークでは、イベントの内容を受けてパネリストや参加者の皆さん同士で1時間以上盛り上がり、イベントを起点に輪が広がっていくのを感じました。



【PART1】
公共訴訟ってなに？　～社会を変える手段としての裁判～
MC：能條桃子（一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事）
パネリスト：小野春（「結婚の自由をすべての人に」訴訟 原告）、亀石倫子（弁護士）、佐野良介（「人間を育てる教員に人間らしい働き方を」訴訟 田中まさお支援事務局）、向井佑里（CALL4）

【PART2】
U30が政治家になれる社会をつくるには？
～公共訴訟で“被選挙年齢引下げ”作戦会議～
MC：前田知哉（CALL4）
パネリスト：亀石倫子（弁護士）、能條桃子（一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事）、橋本ゆき（渋谷区議）、牧野圭太（DE共同代表）



【CALL4 3周年記念 支援者限定 event】開催

CALL4のこれまでとこれから ー年次活動報告会2022ー

CALL4の活動開始から3周年を迎え、マンスリーサポーター様を募集し始めてから約1年が経った2022年9月10日に、マンスリーサポーター様と日頃CALL4をご支援いただいている方々向けに、初めての年次活動報告会を開催しました。現地・オンライン参加合わせて30名のサポーター様がご参加くださり、私たちの活動の全体像や、いただいたご寄付の使いみち、CALL4の活動のビジョンについてお話させていただきました。また、CALL4の活動の意味について、掲載ケースの代理人である亀石倫子弁護士、西山温子弁護士、掲載ケースの原告であるFu-ken様からお話をいただき、日頃ご支援いただいている方々からのメッセージもご紹介させていただきました。報告会の最後には、CALL4チャレンジトークとして、CALL4メンバーへ、みなさまからのCALL4の活動についてのフィードバックや活動を改善すべきアイディアをたくさんいただき、直接サポーター様の声を聴かせていただく貴重な機会となりました。





【CALL4 イベント】開催

子どもが生きやすい社会をつくるには？
～子どもを育てる現場を変える“ アクション ”を考えよう！～

2023 年 1 月 18 日に、“ 子どもを育てる現場を変える ” をテーマにイベントを開催。申し込みは満枠となり、当日の会場は熱気に溢れました。
第一部では、公立学校や児童相談所の環境改善を働きかけたり、支援を必要とする子どもたちをサポートしたりしているゲストたちの現場の話を聴き、第二部では参加者全員が「子どもたちのためにどんな未来にしたい？」「私たちにできることは？」をテーマにワークショップを行いました。

MC：犬山 紙子（イラストエッセイスト）
パネリスト：飯島 章太（「子どもと向き合う時間がほしい」児童相談所の労働環境改善を！訴訟 原告）、石原 悠太（「人間を育てる教員に、人間らしい働き方を」訴訟 支援者）、田中 れいか（モデル／一般社団法人たすけあい 代表）





新たに誕生したLEDGEとの連携

2023 年 3 月に、戦略的に公共訴訟を実践することを目指す LEDGE というプロジェクトが始まりました。CALL4 は、公共訴訟を盛り上げて司法を開くというミッションが共通することから、様々な形で LEDGE と連携をしています。4 月にはファンドレイジングパーティを共催し、6 月には LEDGE が手がける「立候補年齢引き下げ訴訟」のケース掲載をしています。LEDGE とともにより一層公共訴訟を盛り上げていきます。ご期待ください。

LEDGE
変えられない、を変える

WEB サイトはこちら

2022年度メディア掲載一覧

2022/08/05　朝日新聞
（いま聞く）谷口太規さん 弁護士「社会変える裁判」、根付くか

2022/10/02　東京新聞
クラファンで公共訴訟を後押しする CALL4「裁判で社会は変わる」と語る代表・谷口太規弁護士の思いは

2022/12/09　読売新聞
クラウドファンディングで公共性のある訴訟の支援広がる…同性婚、長時間労働など、関心も高める

2023/01/10　毎日新聞
国・行政との裁判、CF で支援　「共感を力に」若手弁護士ら成果

2023/02/05　TBS ラジオ『テンカイズ』
「社会の課題を公共訴訟＝裁判で解決！ 新時代のアプローチ法とは？」

2023/04/21　NHK『おはよう日本』
クラウドファンディング活用　裁判を通して社会に関心

2023/06/29　弁護士ドットコム
判決伝える〝びろーん〟「勝訴」が一番映える書体はどれ？ 舞台裏に迫る

公安警察による市民運動の監視を許さない。市民の「もの言う」自由を守るための訴訟

公正な手続　# 政治参加・表現の自由　# 個人情報・プライバシー

CASE 01



岐阜県大垣市に風力発電施設計画が浮上し、健康被害や土砂災害などを心配した地域住民が勉強会を開いたところ、大垣署警備課（公安）が事業者を呼んで、勉強会主催者とその知人ら計 4 名の個人情報を提供しました。「このような人物」が連携して市民運動に発展すると「厄介だ」というのです。法的根拠なく個人情報を収集し利用する公安警察のありようを問い、「もの言う」自由を守っていくために 4 名が提訴しました。

「子どもと向き合う時間がほしい」児童相談所の労働環境改善を！訴訟

医療・福祉・障がい　# 働き方

CASE 02



原告の飯島さんは、子ども電話相談等を通じて、児童相談所の児童を支える仕事をしたいと志し児童相談所職員となりました。しかし、入所した児童相談所では研修制度の不備や人員の慢性的不足からくる長時間労働が常態化していました。この訴訟を通じて、児童相談所の労働環境について問題提起をし、慢性的な人員不足の解消等を実現し、職員が、一人一人の児童と充分に向き合える環境が整うことを目指します。

家事労働者にも労災認定を！訴訟

働き方

CASE 03



2015 年 5 月、寝たきりの高齢者のお宅で家事業務や介護業務のため、住み込みで 1 週間ほぼ 24 時間休みなしで働いていた A さんが亡くなりました。しかし、国は家事労働者には労働基準法が適用されないことを理由に労災を認定しませんでした。遺族は、家事労働者に労災が認められないのは不当だとして、不認定処分の取り消しを求めて提訴しました。これは、すべての家事労働者の権利回復に関わる裁判です。

日米同性カップル在留資格訴訟 ～家族そろって日本で暮らすために～

外国にルーツを持つ人々　# ジェンダー・セクシュアリティ

CASE 04



日本国籍 - 外国籍の同性カップルが、家族そろって日本で暮らすために。アメリカ国籍のアンドリューさんは、同性パートナーである日本国籍の康平さんと日本での生活を続けるため、「定住者」の在留資格申請をしましたが、認められませんでした。パートナーとの関係に基づく安定した在留資格が、同性カップルには認められていないのです。そこで、「定住者」の在留資格を認めること及び国家賠償を求めるのが本ケースです。

大阪市はカジノ事業者との協議録を開示せよ！訴訟

公正な手続　# 情報公開

CASE 05

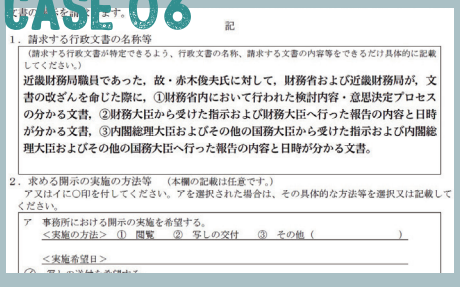


大阪府と大阪市は、カジノ（IR）を推進しています。大阪市とカジノ事業者との間の交渉を明らかにするため、協議記録などを開示請求したところ、全部不開示になりました。行政プロセスの透明化を求め提訴します。

財務省改ざん事件に真実を！ ～改ざんの経緯を明らかに～訴訟

公正な手続　# 情報公開

CASE 06


記
1．請求する行政文書の名称等
（請求する行政文書が特定できるよう、行政文書の名称、請求する文書の内容等をできるだけ具体的に記載してください。）
近畿財務局職員であった，故・赤木俊夫氏に対して，財務省および近畿財務局が，文書の改ざんを命じた際に，①財務省内において行われた検討内容・意思決定プロセスの分かる文書，②財務大臣から受けた指示および財務大臣へ行った報告の内容と日時が分かる文書，③内閣総理大臣およびその他の国務大臣から受けた指示および内閣総理大臣およびその他の国務大臣へ行った報告の内容と日時が分かる文書。
2．求める開示の実施の方法等　（本欄の記載は任意です。）
アまたはイに○印を付してください。アを選択された場合は、その具体的な方法等を選択又は記載してください。
ア　事務所における開示の実施を希望する。
＜実施の方法＞　①　閲覧　②　写しの交付　③　その他（　　）
＜実施希望日＞

公文書改ざんを強いられ自死に追い詰められた赤木俊夫さん（ 財務省近畿財務局勤務 ）。赤木さんに改ざんを命じたのは、財務省の誰なのか？政治家の関与はなかったのか？本当に責任を取るべき者は誰なのか、情報公開訴訟を通じて問います。

不当な補正要求の繰り返しは開示請求権の侵害だ！ ～財務省の姿勢を問う～訴訟

情報公開

CASE 07

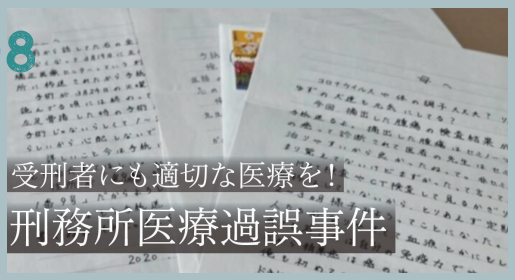


開示請求の件名を通常人が読めば分かるように書いても、財務省はしばしば「必ずしも意味が明らかではありません」として補正を求め、補正ができないと「形式不備による不開示決定」として開示を拒みます。開示請求のあり方を国家賠償請求訴訟で問います。

受刑者にも適切な医療を！
刑務所医療過誤事件

刑事司法

CASE 08



受刑中に十分な医療を受けられず死亡した男性の母と婚約者が起こす国家賠償請求訴訟です。刑事施設の対応は適切なものであったかどうか、そして、日本の刑事施設の医療体制は十分なものであるといえるかを追求します。この訴訟は、刑務所のあり方について社会全体で考えるきっかけとなる、公共訴訟です。

新宿留置場事件 ～警察官による被収容者への違法な戒具拘束や侮辱行為を許さない～

刑事司法

CASE 09



新宿警察署の留置施設に収容されていた原告（２０歳代の男性）が留置担当官と議論になり、保護室に連行され、パンツ一丁にされ、ベルト手錠、捕縄等で身体を拘束された。原告は「垂れ流せよ。みんなそうしてるから。」と言われ、拘束され寝転がされた状態で、パンツをはいたまま排泄させられた。このように保護室＋拘束をセットにしての虐待がルーティンとして行われている、新宿警察署の取り扱いに対する国賠請求事件です。

本人の意思を無視して日本国籍を一方的にはく奪する「国籍法 11 条 1 項は違憲」訴訟

公正な手続

CASE 10



国籍法 11 条 1 項により、外国籍を取得する際に日本国籍を失うことになっても良いかの意思確認もされずに、自動的に日本国籍をはく奪されてしまった人たちが世界中にたくさんいます。日本で育ち海外に渡った人や、日本国内で国際カップルから生まれた子どもたちなどです。現在、世界の約 8 割の国は複数国籍を認めています。国際化が進んだ社会で、自分の意思と無関係に国籍をはく奪されることはもう終わりにしたいと考えています。

市民との約束を無視して進む「新焼却炉建設」を止める訴訟

公正な手続　# 環境・災害

CASE 11



かつての沼津市長は、原告らが住む沼津市と駿東郡清水町外原区とが接する地域において、二度とごみ焼却場を作らないと約束し、住民との間で覚書を取り交わしました。しかし、現・市長はこの覚書を無視して、同じ地域に新しいごみ焼却場を作ろうとしています。このような行政の約束破りは、実は全国で相次いでいます。この訴訟は、行政に住民との約束を守らせるための訴訟です。

「会計年度任用職員にも労働基本権を！」訴訟

外国にルーツを持つ人々　# 働き方

CASE 12



2020 年 4 月、「会計年度任用職員」制度が発足しました。それまで「特別職非常勤職員」として働いていた多くの非正規公務員が、「会計年度任用職員」に切り替えられました。政府は、「特別職非常勤職員」と異なり、「会計年度任用職員」には労働基本権が認められないと主張しています。この訴訟は、憲法で保障された労働基本権を取り戻すことを目指すものです。

日米合同委員会議事録情報公開訴訟【アーカイブケース】

情報公開　# アーカイブ

CASE 13



日米合同委員会の議事録非公開の根拠とされる日米双方の合意により非公表とするとの取り決めについて、情報公開請求で不開示となったため提訴しましたが、のちに取り決め部分は国が別訴訟で証拠提出して公開状態になっていたことが判明しました。そこで、当初の不開示決定が違法であるとして国家賠償請求に変更して争った事件です。

イラク戦争検証報告書情報公開訴訟【アーカイブケース】

情報公開　# アーカイブ

CASE 14



イラク戦争に関して、当時の外務省の対応が適切であったかについての検証結果が取りまとめられた報告書が非公開とされ簡単な概要のみの公表となったため、情報公開を求めたところ不開示との決定がされました。この不開示処分の取消し及び不開示部分につき開示決定の義務付けを求めた事件です。

※【アーカイブケース】とあるものは、訴訟資料アーカイブプロジェクトの対象ケースです。訴訟はすでに終結しています。

今年度にあった重要な判決の一部をご紹介します

「鬼怒川大水害訴訟」一審判決

#01
水戸地方裁判所

公正な手続　# 環境・災害

2015 年 9 月の豪雨により鬼怒川で大水害が発生し、多くの方が死傷し家屋などの財産を失いました。遺族らが国の責任を求めて提訴していましたが、2022 年 7 月 22 日、水戸地方裁判所（阿部雅彦裁判長）は、砂丘を河川区域とすべきだったのに放置したことなどに国の責任を認め、損害賠償を認めました。洪水訴訟で国の責任を認める判決を勝ち取ることは極めて困難で、画期的な判決です。



「結婚の自由をすべての人に訴訟（同性婚訴訟）」一審判決

#02
大阪地方裁判所
東京地方裁判所
名古屋地方裁判所

ジェンダー・セクシュアリティ

日本の法制度は同性間の婚姻を許しておらず、同性カップルはさまざまな不利益を受けています。2019 年 2 月 14 日、全国 5 ヶ所の地方裁判所に、同性間に婚姻を認める法制度を設けない国会の責任を問う訴訟が一斉に提起されました。CALL4 は設立まもない時期からこれらの訴訟を支援しています。
2022 年 3 月 17 日の札幌地裁を皮切りに、11 月 30 日に東京地裁、5 月 30 日に名古屋地裁、6 月 20 日に大阪地裁、2023 年 6 月 8 日に福岡地裁と、現状の制度に問題があるとする判決が相次いで出され、法制度改正に向けた大きな後押しとなっています。



「カメルーン人男性死亡国賠訴訟」一審判決

#03
水戸地方裁判所

外国にルーツを持つ人々　# 公正な手続

2014 年 3 月 30 日、茨城県牛久市の入管収容所に収容されていたカメルーン人男性が、大声で「死にそうだ」と訴えたにもかかわらず放置され、死に至りました。2017 年 9 月、収容施設の責任を求めて水戸地方裁判所に訴訟が提起されました。この訴訟も CALL4 が設立当初から支援してきた事件です。
2022 年 9 月 16 日、水戸地方裁判所（阿部雅彦裁判長）は、入管職員らの注意義務違反がなければ、死亡した時点でなお生存していた相当程度の可能性があったとして、国の責任を認めました。入管施設における死亡事故で国の責任を初めて認めた、画期的な判決となりました。



「ベトナム人技能実習生リンさんの死体遺棄罪刑事事件」最高裁判決

#04
最高裁判所

外国にルーツを持つ人々　# ジェンダー・セクシュアリティ　# 働き方　# 刑事司法　# アーカイブ

2020 年 11 月 15 日未明、ベトナム人技能実習生のリンさんが双子を産み落としましたが、死産でした。彼女は我が子の死を悼み、嬰児をタオルで包み段ボールで囲い安置していました。検察官はリンさんのこの行為が死体遺棄にあたるとして起訴しました。
熊本地方裁判所と福岡高等裁判所は有罪判決を下しましたが、2023 年 3 月 24 日、最高裁判所第 2 小法廷は、死体遺棄罪の遺棄の意義について解釈を深めた上で、リンさんの行為は習俗上の埋葬と認められないものではないとして逆転無罪を言い渡しました。最高裁が刑事事件で弁護人の主張を容れて逆転無罪を言い渡すことは極めて稀なことです。



2022年度公開コンテンツ

今年度は、7件のストーリー記事、14件のコラム記事を公開しました

STORY

2022.6.15



住民のための町政をはばむ「地方議会の機能不全」をただす

湯河原町議会をめぐる、
ふたつの訴訟のストーリー

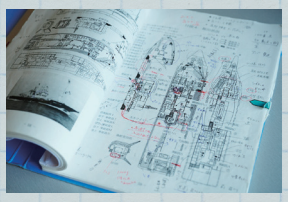
2022.7.5



「自分は動物じゃない」そこまで言わせる日本の入管収容は国際法違反である

「自由権規約」違反を問う訴訟を支える、
弁護士たちのストーリー

2022.8.1



17人が命を失った沈没事故。なぜ国は生存者証言を無視し、情報開示を拒むのか

「第58寿和丸」沈没事故の真相を追い、
国に情報開示を求めるストーリー

2022.11.17



休憩もない過酷な労働環境を見直し、ケアの必要な子どもと向き合える“児童相談所”へ

児童相談所の元職員・飯島さんと、
弁護団のストーリー

2023.2.28



自分の国に帰れないから、助けてとお願いしている。ただそれだけで、同じ人間だから

難民申請中のイラン国籍のサファリさんと、
彼を支える駒井弁護士のストーリー

2023.4.10



高熱の同房者に毛布を。そう頼んだ彼を、留置担当官はパンツ一枚にして拘束した

拘束され怪我を負った被留置者と、
その違法性を問う弁護団のストーリー

2023.5.10



「仕事も、家族のあり方も、決めるのは国ではない」

日本のパスポート発給を拒否された
近藤ユリさんのストーリー

COLUMN

インターン募集＆レポート

CALL4 夏期インターン生募集！
公共訴訟に触れてみよう

CALL4 春期インターン生募集！
公共訴訟に触れてみよう

私たちの共感が、尊厳が守られる公正な社会を築く
CALL4 インターン記

はじめて原告に出会ったインターンで、私が変わったこと
CALL4 インターン記



マンガで公共訴訟　シリーズ

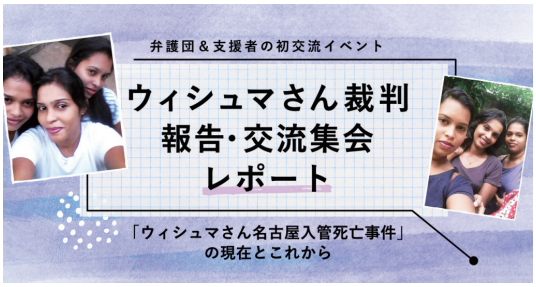
人質司法
マンガで公共訴訟(7)

CHANGE
マンガで公共訴訟(8)



イベントレポート

ウィシュマさん裁判報告・交流集会レポート
ウィシュマさん名古屋入管死亡事件の現在とこれから



インターン生企画

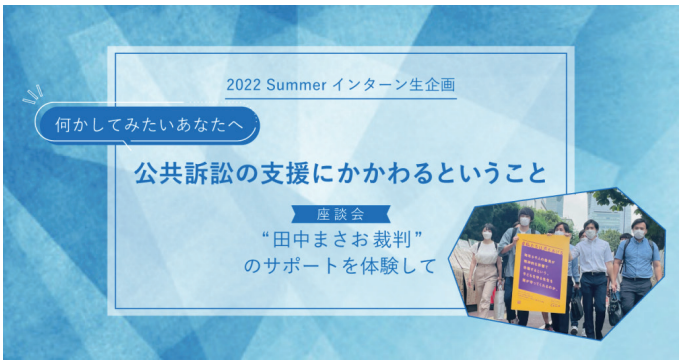
公共訴訟の支援にかかわるということ
［座談会］田中まさお裁判のサポートを体験して

＜インターン生企画＞僕が公共訴訟の“ 原告 ”になった理由
［interview］鈴木げん（俺裁判・原告）

＜インターン生企画＞同性カップルの婚姻をめぐる現状と今後の道筋
［Interview］曽我部真裕（憲法学者）

CALL4 と一緒に考えよう！公共訴訟
中学生以上向けクイズ企画

日本の入管問題の今　－元入管職員と支援者、2つの視点から－
［前編］渡邉祐樹（弁護士・元入管職員）
［後編］BOND ～外国人労働者・難民と共に歩む会



#CALL4 振り返り

3 年のあゆみを振り返る
「CALL4 HISTORY」
CALL4 は、おかげさまで 3 周年。



2022 年度会計　（2022.6.1 ー 2023.5.31）

2022 年度収支報告

科目			金額（単位：円）	
経常収益	受取寄付金	受取寄付金	38,832,233	
		受取助成金	4,034,700	
	事業収益	自主事業収益	14,552,800	④
	その他収益	受取利息	130	
		雑収益	18,842	
経常収益合計			57,438,705	①
経常費用	事業費	人件費	2,028,591	
		業務委託費	15,266,985	⑤
		諸謝金	838,500	
		印刷製本費	517,703	
		会議費	894,036	
		旅費交通費	1,014,365	
		通信運搬費	86,928	
		消耗品費	202,131	
		水道光熱費	87,085	
		地代家賃	877,349	
		賃借料	340,917	
		広告宣伝費	84,837	
		接待交際費	10,325	
		減価償却費	2,024,190	⑧
		研修費	16,500	
		支払手数料	449,644	
	事業費合計		24,740,086	
	管理費	人件費	225,398	⑥
		業務委託費	747,960	⑦
		印刷製本費	57,522	
		会議費	99,337	
		旅費交通費	1,701	
		通信運搬費	9,658	
		消耗品費	24,358	
		水道光熱費	9,676	
		地代家賃	97,483	
		減価償却費	224,910	
		租税公課	13,750	
		支払手数料	49,960	
	管理費合計		1,561,713	
経常費用合計			26,301,799	②
当期経常増減額			31,136,906	
経常外収益			220,998	
経常外費用			0	
税引前当期正味財産増減額			31,357,904	
法人税、住民税及び事業税			70,000	
当期正味財産増減額			31,287,904	③
前期繰越正味財産額			3,459,418	
次期繰越正味財産額			34,747,322	

当法人の会計年度は 2022 年 6 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日です。活動計算書上、今年度はおよそ 5740 万円の収入を得て（①）、2630 万円を支出し（②）、税引き後で 3130 万円ほどを翌年度に繰り越しました（③）。

収入は大きく事業収益と寄付収益に分かれます。事業収益は株式会社TKCと株式会社現代人文社との共同事業に関して得たものです（④）。今年度は 4 月にファンドレイズパーティを開催し、多くのご寄付をいただきました。

支出のメインは業務委託費です。事業費におけるものとしてウェブシステムの保守・運営費用、各種デザインの費用、法人運営に関する専門家の費用などを（⑤）、管理費として法人運営に関する常勤スタッフに対する給与（⑥ CALL4 の運営は、本業を別にもつプロボノメンバーを中心に運営しておりますが、2022年度は一人常勤の事務局を雇用しておりました。）、非常勤スタッフに対する委託費などを計上しています（⑦）。事業費に含まれる減価償却費は、譲り受けたシステムに関して計上したものです（⑧）。

※CALL4 の決算報告書は、毎年、CALL4 ウェブサイト運営組織のページに掲載しております。

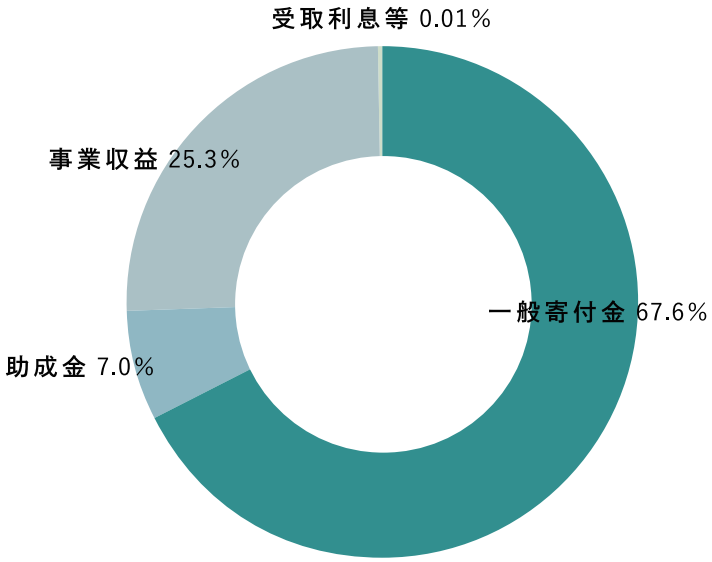
この活動計算書は会計帳簿の金額と一致し、認定特定非営利活動法人 CALL4 の収支を正しく示していることを認めます。

監事　石川 えり
監事　土井 香苗

収入内訳

一般寄付金	38,832,233	67.6%
助成金	4,034,700	7%
事業収益	14,552,800	25.3%
受取利息等	18,972	0.01%
合計	57,438,705	100%

※一般寄付金のうち、3,038,600 円が定期的なご寄付です。2021 年 8 月 24 日からマンスリーサポーターを募集し始め、2023 年 5 月 31 日までに、117 名の方々にマンスリーサポーターとなっていただきました。多くのみなさまにご支援いただき、誠にありがとうございました。

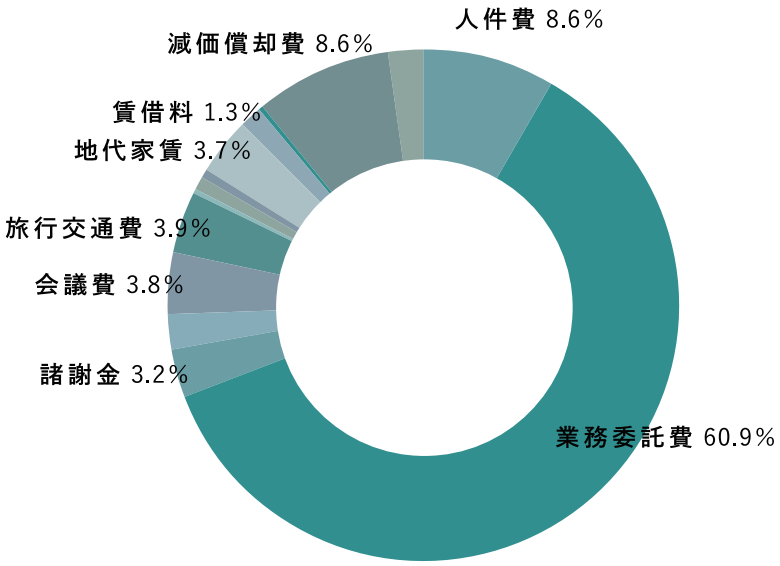


＜事業収益について＞

公益的訴訟・社会的訴訟に関する普及啓発事業として、公益的訴訟・社会的訴訟に関して収集した情報を、株式会社 TKC 様、株式会社現代人文社様に提供しております。具体的には、株式会社 TKC 様の運営されている TKC ローライブラリー（https://www.tkc.jp/law/lawlibrary/）へ判決資料の提供を行い、株式会社現代人文社様の運営されている刑事弁護 OASIS（https://www.keiben-oasis.com/）には CALL4 作成のストーリー記事をご提供しています。

支出内訳

人件費	2,253,989	8.6%
業務委託費	16,014,945	60.9%
諸謝金	838,500	3.2%
印刷製本費	575,225	2.2%
会議費	993,373	3.8%
旅費交通費	1,016,066	3.9%
通信運搬費	96,586	0.4%
消耗品費	226,489	0.9%
水道光熱費	96,761	0.4%
地代家賃	974,832	3.7%
賃借料	340,917	1.3%
広告宣伝費	84,837	0.3%
接待交際費	10,325	0.04%
減価償却費	2,249,100	8.6%
研修費	16,500	0.06%
租税公課	13,750	0.05%
支払手数料	499,604	1.9%
合計	26301799	100%



マンスリーサポーターの声

中島 京子さん
Kyoko Nakashima

作家



訴訟をサポートできることは、発見であると同時に嬉しいことでした。応援したい公共訴訟はいろいろあるのですが、全てのケースに寄付をできるわけではないので、自分が関心を寄せているケースだけでなく、公共訴訟全体を応援する意味で、マンスリーサポーターとして CALL4 を支援しています。CALL4からは、訴訟は世の中を変える力になることを教えてもらっています。

趙 誠峰さん
Cho Seiho

弁護士



最近、最高裁において違憲判決を含め、積極的な法令判断がなされるケースが出てきました。それに呼応するように下級審でも公共訴訟において画期的な判決が出ています。これらの背景には CALL4 の取り組みがあると思います。CALL4 の取り組みによって公共訴訟への社会の関心が高まり、弁護士のノウハウが蓄積し、それが社会を変える原動力になっていると感じます。

スタッフの声

紺田 雄平
Yuhei Konda

ケースサポーター
Podcast チーム



2021 年の春インターンをきっかけに、CALL4 に参加しました。ケースサポートでは、クラファンの立ち上げや公開後の支援をしています。「訴訟の意義を伝えるために何ができるか」をサポーター一丸となって考えています。サポートしたケースへの支援の輪が広がり、社会が変わっていく、そんな公共訴訟の過程に加わる面白さを感じています。

久保田 紗代
Sayo Kubota

コミュニティスタッフ
メルマガ担当



2020 年からプロボノで参加している久保田です。普段はデジタルマーケティングの仕事をしています。企業で働く以外にどういう形で社会と接点を持てばいいのかな、と悩んでいた時期に CALL4 に出会いました。いまはメルマガ配信という形で、CALL4 をサポートしてくださっている方々に、CALL4 の活動や訴訟の最新情報をお届けしています。受け取る方が、自分も CALL4 の仲間として社会に関わっていると感じて頂けるといいなと思いながら発信しています。

関 薫
Kaoru Seki

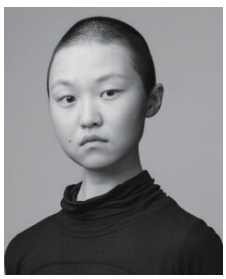
デザイナー
Instagram チーム



インスタグラムやイベント告知等のデザイナーをしています。2022 年 3 月に立ち上げられたインスタグラムチームは、『司法をもっと身近に』をテーマに、一見むずかしそうに見える裁判の内容などをわかりやすく伝えることを目標としています。私は大学でインフォグラフィックを学んでいたこともあり、デザインの力で、いま社会を変えようとしている方々のことをより広く伝えたいという思いで CALL4 に参加しました。フォローやいいね、ぜひよろしくお願いします♪（@call4_jp）

Tracey Cui
Tracey Cui

翻訳
ケースサポーター



中国生まれ、カナダ育ち、アメリカで law school を終了してから日本にたどり着いたトレイシーです。法や社会問題や訴訟は、専門家のみのものではなく、誰でも日常の瞬間に関わりを感じられるもの。翻訳チームは CALL4 にある内容をより広い範囲の人々に発信するため、英語や中国語などに翻訳しています。翻訳チームは一言一言に思いを込めて、文化と言語の掛け橋として元気に活動中。京都をベースにしている members が多いので、時々京都の町屋でベジタリアンご飯会も。

あなたのサポートが
CALL4のチカラ
になります

SUPPORT

CALL4の活動を寄付で支える

CALL4 の運営はプロボノメンバーを中心に行っています。
しかし、ケースの立ち上げ支援やコンテンツの作成、
ウェブサイトの運営、イベント開催などには
費用がかかります。より多くの方に社会課題と訴訟の
ポイントについて知っていただくためには、
一定の費用をかけてこうした活動を継続することが必要です。
私たちの活動にご寄付いただけますと幸いです。

＜マンスリーサポーターとして支える＞

クレジット払い

＜単発の寄付で支える＞

クレジット払い

銀行振込

PayPay 銀行
店番号：005（ビジネス営業部）
種目：普通
口座番号：5418802
名義：特定非営利活動法人 CALL4（トクヒ）コールフォー）

三菱 UFJ 銀行
店番号：052（神楽坂支店）
種目：普通
口座番号：0938750
名義：特定非営利活動法人 CALL4（トクヒ）コールフォー）

ゆうちょ銀行
店名：〇一九支店
種目：当座
口座番号：0421781
口座名称：特定非営利活動法人 CALL4（トクヒ）コールフォー）

CALL4 に掲載されたストーリーや訴訟のことを
家族や友人や周りの人に伝えてください。
SNSで話題にしてください。
寄付や原告や弁護団が必要なサポートをしてください。
そして、ぜひ訴訟の傍聴にも行ってみてください。
きっと受け取るものがあるはずです。

また、掲載されている訴訟資料を読んで
周りの人と議論もしてみてください。
専門用語もありますが、
そこには知らなかった事実や情報が
含まれていると思います。

CALL4 の活動は、
皆様の「共感」によって初めて成立します。
ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

Apple podcast　Spotify　メルマガ登録

info@call4.jp
何かご不明な点等ございましたら、
いつでもお問合せください

CALL 4